



## 学校運営協議会と地域学校協働本部は車の両輪

御嵩町教育委員会

### ◆学校運営協議会の設立

御嵩町教育委員会は、地域とともにある学校づくりを推進していくために、保護者や地域の皆さんの意向を適切に反映する組織として、学校運営協議会を全小中学校6校に設置している。学校と保護者や地域の皆さんが同じ目標に向かって、一緒になって子どもたちを育てていくことは、子どもたちの健全な育成とともに、そこに関わる地域の大人の教育力を高め、地域の絆をより一層深め、地域づくりにつながると考えている。

平成26年11月に「御嵩町立小・中学校における学校運営協議会の設置及び運営等に関する規則」を策定し、学校運営協議会の設置に向けて、全小中学校6校に働きかけてきた。学校運営協議会が設置されたコミュニティ・スクールのあるべき姿として次のように考えている。

### コミュニティ・スクールのあるべき姿

- ①地域とともにある学校づくりを進め、地域の活性化につながっているということ。  
そして、子どもも大人も御嵩町民みんなが笑顔いっぱいになっているということ。
- ②学校の先生方が御嵩町を理解し、地域の活性化に努める学校運営をしているということ。  
昭和60年度の御嵩町の小中学校で、御嵩町出身の先生は全体の31%。現在は18%。御嵩町出身の先生が少なくなっている。だからこそ、先生方が異動しても学校運営の基盤が大きくぶれることがないようにしなければならない。
- ③学校の重要課題について、地域の皆さんと共に考えていくということ。  
特に、「小規模校の上之郷小学校、上之郷中学校の今後の在り方について」のような地域の重要な課題の議論が、地域の皆さんの力で進めていくようにする。

学校運営協議会の委員は教育委員会が任命する。委員は、校長先生の作成する学校運営の基本方針の承認や、学校運営について学校や教育委員会へ意見を述べたり、先生方の任用に関しても教育委員会へ意見を述べたりする。

### ◆コミュニティ・スクールの現状と課題

現状については、学校運営協議会の協議による成果と、学校運営協議会が仲立ちした地域学校協働活動の内容について、学校運営協議会の設置順に各学校を紹介する。

- ①上之郷小学校…学校運営協議会は、平成27年4月1日設置。将来を見据えて、誰からも憧れをもたれる学校づくりの在り方として、小規模特認校制度の導入を実現させた。そして、学校運営協議会の支えで、平成28年度から3カ年、文部科学省指定の「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」に取り組み、多くの成果を挙げた。また、防災教育の推進に多くの地域の方々の支援がある。上之郷地区盆踊りの夕べや上之郷公民館まつりには、児童が積極的に参加している。
- ②上之郷中学校…学校運営協議会は、平成30年4月1日設置。学校におけるコロナ対策を説明・協議し、承認を得、地域の目・親の目が一緒になり、学校として自信をもって取り組む事が出来ている。舩五山茶のペットボトル目を推進し、今年度、文部科学大臣賞を、更に第35回時事通信社教育奨励賞優良賞を受賞した。舩五山茶園の除草作業を今年度から自治会長会の方々も応援している。上之郷地区盆踊りの夕べや上之郷公民館まつりには、生徒が積極的に参加している。
- ③伏見小学校…学校運営協議会は、平成30年4月1日設置。教室の暑さ対策として、スポットクーラー等の設置に尽力した。また、「伏見小学校児童登下校安全サポート会」を発足させている。校内の草刈りや樹木の剪定等の支援、御嵩町の花「菊づくり」等、地域の方々の支援が多くある。伏見地区夏祭りや伏見地区大運動会、伏見公民館文化祭等には、児童が積極的に参加している。
- ④御嵩小学校…学校運営協議会は、平成31年4月1日設置。コロナ禍での授業や修学旅行や運動会等の在り方について承認し、応援していただけたので、自信をもって取り組む事が出来ている。困ったことを相談すると、いろいろアドバイスをいただいている。御嵩小えがお応援隊により、授業の支援、学校園の整備等に取り組んでいただいている。児童は、「こどもまつり」や御嵩公民館文化祭・秋祭り等のボランティアや音楽祭等に積極的に参加している。
- ⑤向陽中学校…学校運営協議会は、平成31年4月1日設置。学校で困っていること等を相談すると、いろいろとアドバイスをいただいている。学校の環境整備にも、積極的に取り組んでいただいている。中公民館夏祭りや御嵩公民館文化祭・秋祭り等のボランティアに積極的に参加している。頼りにされて、企画段階から参加している。また、地域の環境美化に努めるKCV(向陽中クリーンボランティア)は、今年度、第21回環境美化教育優良校等表彰で優良校・協会会長賞を受賞した。
- ⑥共和中学校…学校運営協議会は、令和2年4月1日設置。学校運営方針やコロナ対策、不登校対策等について協議・承認し、理解していただくことにより、学校は自信をもって取り組む事ができている。校内の草刈り、樹木の剪定等、地域の方々の支援が多くある。伏見地区夏祭りや伏見地区大運動会、伏

見公民館文化祭、兼山保育園運動会や兼山地区センター行事等には、生徒が積極的に参加している。

以上のように、学校運営協議会から、学校経営方針や教育課程の基本方針等を承認され、アドバイスを受けることで、学校は自信をもって学校運営に取り組んでいるところである。更に、学校運営協議会が仲立ちとなることで、地域学校協働活動がより意義深い活動となっている。

課題については、働き方改革を踏まえることだと考えている。学校運営協議会の事務等で学校の負担が増えないよう、更に公民館や地域の皆さんの負担が増えないよう配慮しているところである。

## ◆地域学校協働活動の具体的な中身とその効果

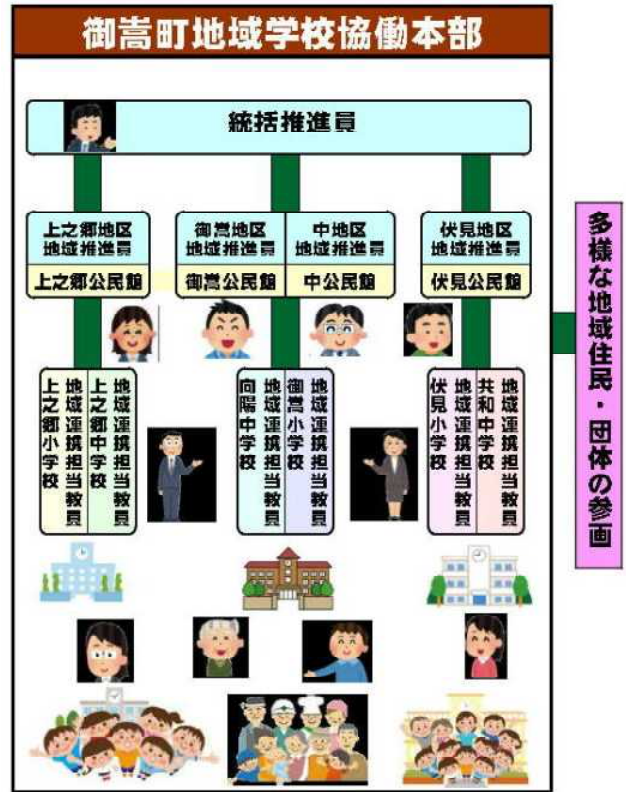
御嵩町制が施行されたころは、一人の大人が5・6人の子どもの世話をしていた。65年が経った現在は、5・6人の大人が一人の子どもを世話する時代になった。少子化・高齢化が急激に進行する中で、厳しい時代を生き抜く力の育成、地域から信頼される学校づくり、地域の教育力の再構築、地域の活性化等の観点から、学校と地域はパートナーとして連携・協働していくことが、喫緊の課題となってきている。

「地域学校協働活動」とは、地域の幅広い大人の方々に関わっていただき、地域と学校が対等な立場で連携・協働を行うさまざまな活動を言う。前述した各学校の活動は、地域と学校がWin・Winの関係になっている。この関係が一番大切であり、これこそ、地域学校協働活動であると考えている。

そして、持続的な地域学校協働活動を進めていくために、地域と学校が協働する仕組みとして「御嵩町地域学校協働本部」を令和2年1月に設置した。御嵩町では町全体に一つの本部を設置した。

御嵩町地域学校協働本部は、統括推進員、地域推進員及び地域連携担当教員をもって組織する。統括推進員は社会教育指導員で御嵩町公民館長さんを、地域推進員は地区公民館の館長さんを、地域連携担当教員は各小中学校の教頭先生を充てた。

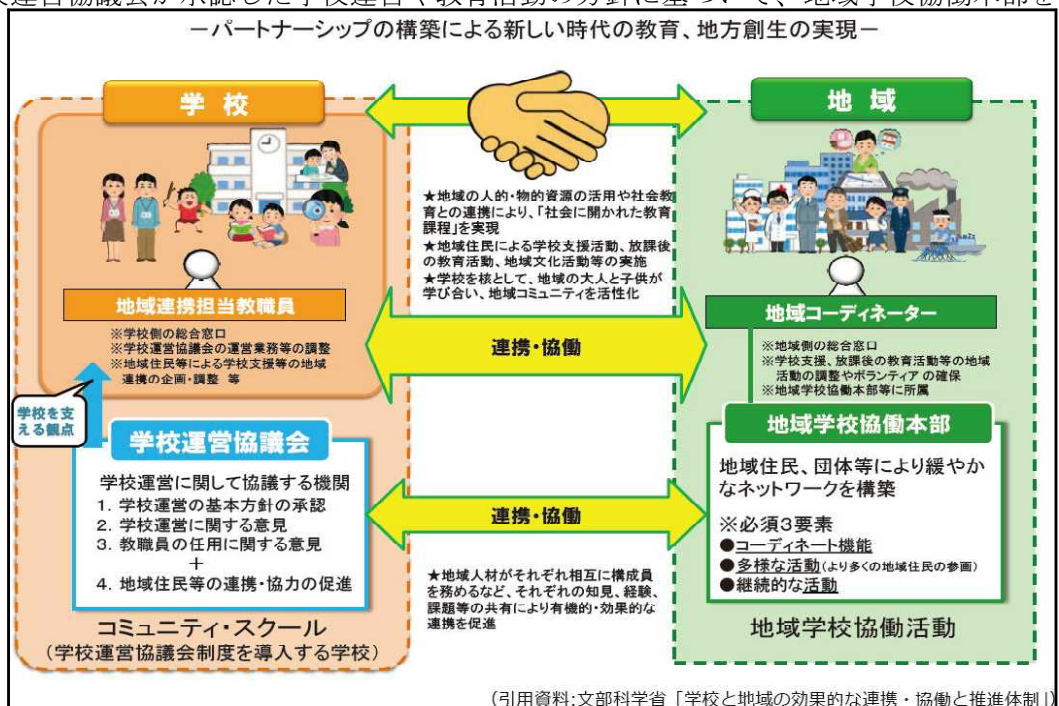
この組織は、既存の「公民館・学校連絡会」を発展させたものである。既存の組織を活用し、負担感を感じることなく、無理のない取り組みとなるよう配慮している。効果として、各校の実践を幅広く交流する機会になり、お互いに学び合うことにより、「地域学校協働活動」の活性化につながっている。



学校運営協議会と地域学校協働本部は、地域と学校の連携・協働を一体的に推進していく車の両輪のような関係である。学校運営協議会が承認した学校運営や教育活動の方針に基づいて、地域学校協働本部を

中心とした地域学校協働活動が展開されている。学校運営協議会と地域学校協働本部が連携することにより、子どもたちの教育に関する課題や目標等が共有され、当事者意識が高まるといった効果が期待されているのである。

コロナ禍において、学校運営協議会と地域学校協働本部の存在価値、重要性が更に高まっていると感じている。



(引用資料:文部科学省「学校と地域の効果的な連携・協働と推進体制」)